

MI_2405 芯温センサー - 取り外しと取り付け

 iHexagon

 20分

 標準

 2026/01/12

テーマ

ここでは、芯温センサーの取り外しと取り付けについてご説明します。

対象となる製品/アクセサリ

- iHexagon
- 6-1/1

必要な工具

- 標準
- マイクロ波漏洩測定装置

必要なコンポーネント：

取り外しと取り付けには以下のコンポーネントが必要です。

コンポーネント：	品番：
芯温センサー	40.07.950P

一般情報

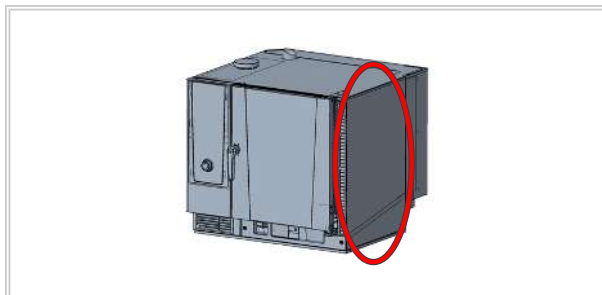
注記

コンポーネントの取り付けをサービスレベルに記入します（タブ「コンポーネントの交換」）。これはメンテナンス履歴の一部です。

ターゲットグループ

- 本書は、トレーニングコースおよび安全説明会に参加し、メーカーから認定を受けた訓練された技術者を対象としています。
- 設置、点検、メンテナンス、修理作業は、訓練を受けた技術者のみが行うことができます。
- 点検、メンテナンス、修理は、メーカーが認めた技術者のみが実施することをお勧めします。
- お客様はユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。このユニットは、屋外で遊ぶためには使用できません。これも監督下で禁止されています。
- このユニットは、お客様、身体的・感覚的あるいは知的な能力に制限のある方、または経験や知識が不足している方が使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ただし、そのような人たちを安全責任者が監督し、ユニットの危険性を認識させている場合はこの限りではありません。
- 事故や物的損害のリスクを回避するため、メーカーは技術者が定期的なトレーニングコースや安全説明会に参加することを推奨しています。

取り付け位置



安全上の指示

⚠ 危険

電源に接続する際の高電圧

高電圧を扱う際には生命の危険が生じるおそれがあります。

- 電源との接続を切ってください。
- 意図せず再起動されないように保護してください。
- ユニットが非通電状態であることを確認してください。

⚠ ご注意

筐体の鋭利な端部

電装部で作業する際、筐体の鋭利な端部で切り傷を負うおそれがあります。

保護用手袋を用いてください。

⚠ 警告

洗剤による化学熱傷の危険性

使用中、意識的および無意識的に洗剤に接触するため、化学火傷の危険があります。

- 取り付けやメンテナンスの際には、身体にフィットした保護メガネと薬剤保護用手袋を着用し、保護製品を確実に取り扱います。

注記

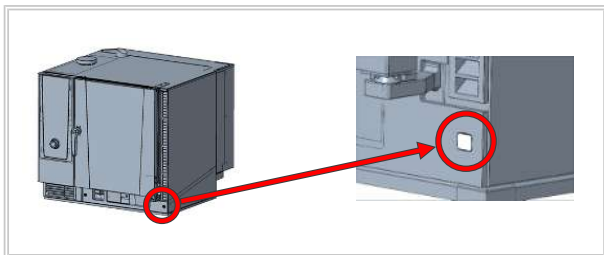
地域および国ごとの安全・試験規定を遵守してください

RATIONALのユニットに関する全ての作業には、それぞれの地域、国別の安全および試験規定が適用されます。これらの規制は地域によって異なる場合があります、国ごとに異なるため、本書では個別に記載していません。

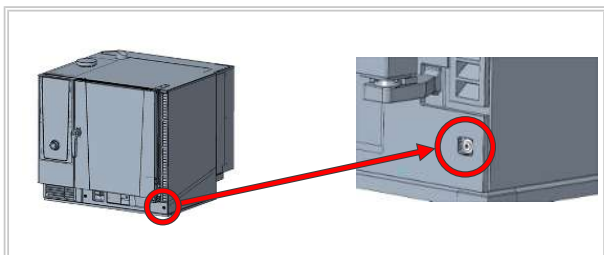
技術者は、これらの規則を遵守する責任があります。

作業ステップ - 芯温センサーの取り外し

- ✓ ユニットのスイッチが切られて、非通電状態になっています。
 - ✓ 左側のサイドパネルが開いています。
1. カバーを取り外します。



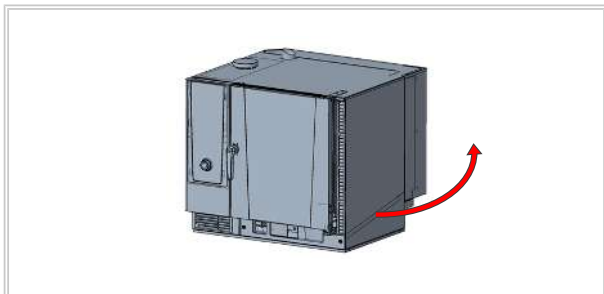
2. プラスチック拡張リベットを外します。



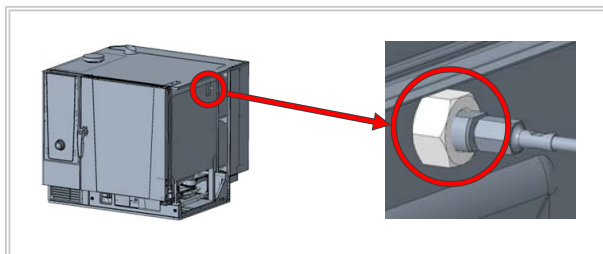
3. ユニット背面の固定ネジを外します。



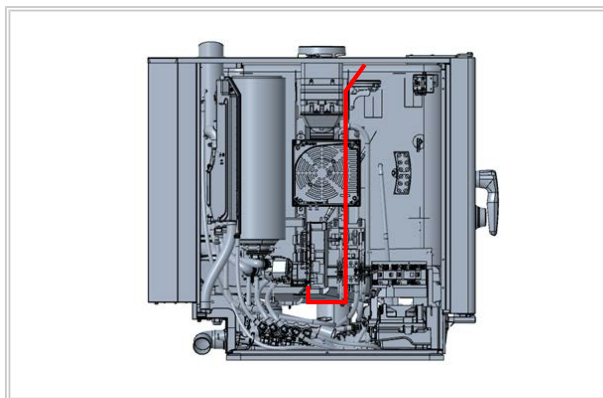
4. 右側のサイドパネルを外します。



5. 芯温センサーのナットを外します。
注！ 芯温センサーを持ち上げる必要はありません。



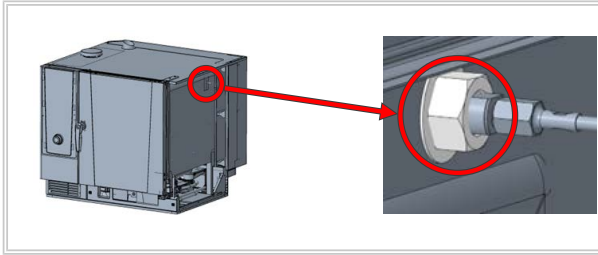
6. 電装部の芯温センサーをI/Oモジュールから外します。



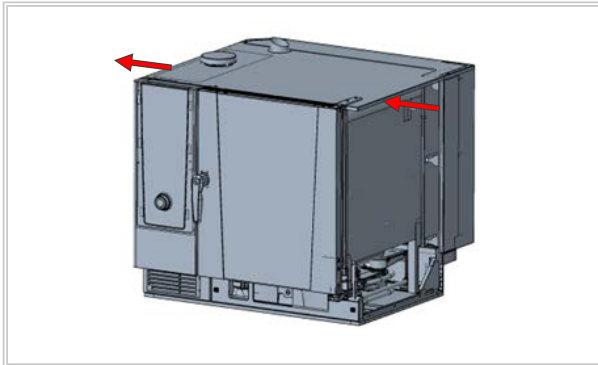
7. 天井下の芯温センサーのプラグを左から右に引き抜きます。
8. 故障した芯温センサーをユニットから引き抜きます。
>> 取り外しは完了です。

作業ステップ - 芯温センサーの取り付け

- ✓ ユニットのスイッチが切られて、非通電状態になっています。
 - ✓ 左側のサイドパネルが開いています。
1. 新しい芯温センサーを、ケーブルも含めて庫内から開口部へ通します。
 2. 新しい芯温センサーを取り付けます。
フランジナットを20Nmのトルクで締め付けます。
- 注！新しい銅製ガスケットと新しいフランジナットを使用します。**

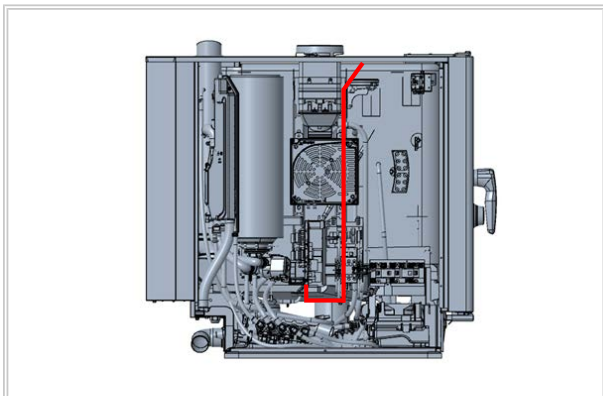


3. 芯温センサーのプラグを天井下、右側から電装部に向かってスライドさせます。
注！芯温センサーのケーブルを、天井下、前方3分の1の位置にあるユニットに通します。

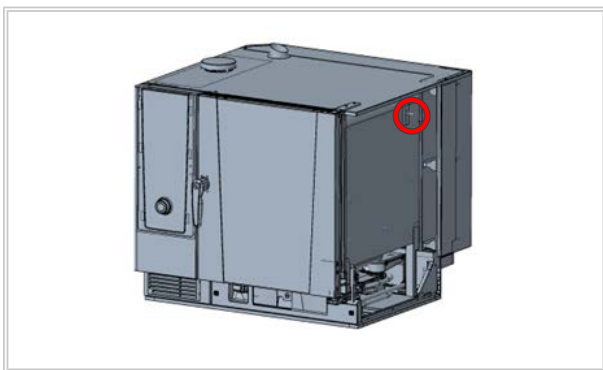


4. 電装部にある芯温センサーのケーブルを、ケーブルの根元部分からI/Oモジュールに導きます。

5. 芯温センサーのプラグを I/O モジュールに接続します。



6. ユニットにマイクロ波漏洩がないか検査します。
警告！ ユニットが通電状態で、左のサイドパネルが開いています。
7. 以下を開きます：サービスレベル -> マイクロ波 -> 漏洩試験 -> コンポーネント交換
8. 以下の位置でマイクロ波漏洩の点検を実施します。
測定値は 0.4 mW/cm^2 以下でなければなりません。
注！ マイクロ波の漏洩に関する詳細は、設置マニュアルに記載されています。



9. 左側のサイドパネルを取り付けます。
10. 右側のサイドパネルを取り付けます。
11. ユニットの背面にある固定ネジを取り付けます。
12. プラスチック拡張リベットを取り付けます。
13. カバーを取り付けます。
- >> 取り付けは完了です。